

〒602-8580 京都市上京区新町上立売西入ル西大路町 61-1
TEL 075-251-3185 ©同志社大学体育会機関紙
Doshisha Sports アトム
令和7年(2025) 硬式野球号
05/23 金曜日 発行人 北原礼菜 編集人 矢部彰香
http://doshisha-atom.net/

真剣勝負を再び

同志社アトム

硬式野球部

坂組

わがさを紫に染める

2・3面 選手紹介

4面 裏方紹介

5面 回顧録

裏面 チアリーダー部

中森は
頼れる副キャ

知念は
関西人?

中森 法4と
は関西人より関
西人です。沖
縄出身ですが、
話の中でボケを
入れたら、ツッ
コミを欲しがっ
たりする時があ
ります。

知念 文情4
は関西人より関
西人です。沖
縄出身ですが、
話の中でボケを
入れたら、ツッ
コミを欲しがっ
たりする時があ
ります。

▶4年生によるフリートーク

長尾は
信頼している

坂組は
自分に厳しい

長尾 法4と
は高校時代に
バッテリーだっ
たので、一番信
頼しています。
今は学生コーチ
の立場としてサ
ポートしていま
す。

坂組 文情4
は高校時代に
バッテリーだっ
たので、一番信
頼しています。
今は学生コーチ
の立場としてサ
ポートしていま
す。

What is he like?

名門大阪桐蔭では副将として重責を担った坂。日本一を成し遂げるべく奮闘した高校での経験を糧に、大学野球の舞台でもリーダーシップを発揮している。「自分からしっかり声を出してくれて、下級生も付いていきやすい」(竹川監督)。自らキャプテンに立候補し、並々ならぬ覚悟でラストイヤーに挑む。今年度からは監督交代を契機に練習の質が飛躍的に向上した。「野球以外の部分もきちんとやるようになった」とチームの成長を実感。選手の背景やモチベーションにも差があるが、卓越した統率力で組織を一つにまとめ上げ、やりがいも感じている。

「すごく頼もしいキャプテンで、締め切りのあるチームになった」(財原・スポ4)。主将として迎える最後の1年。己を律し、全身全霊を懸けて白球に想いを託す。

坂組
CAPTAIN
坂組 文情4
(2nd・1st)

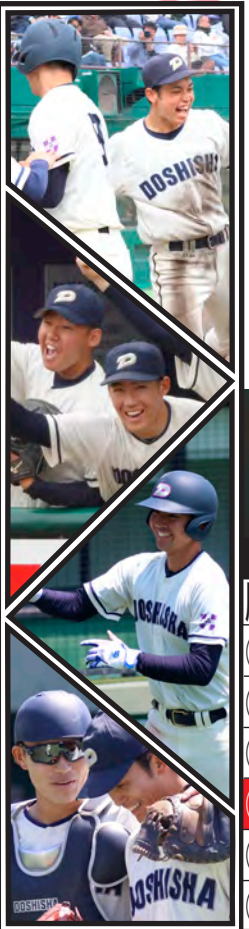
- ・2003年4月4日生まれ
- ・大阪桐蔭高校出身
- ・右投げ右打ち
- ・178cm・78kg
- ・法学部4年

#1

「弱かった過去や、駄目だった自分たちを打ち破っていく。トレーニングに励んでいた昨冬、主将に任命されたばかりの坂は力強く語った。14年にわたり速さあるリーグ優勝をつかみ取るべく、チーム一丸となって戦ってきた同志社。春の戦いも、ついに最終局面を迎える。

振り返れば、うまくいかなかったものが多かった。昨季終了後の新入生に就任した竹川監督の下で3月には強豪早大に善戦。近大との開幕節初戦では逆転勝利を収める。前途には希望が満ちあふれていたが、22年と23年と連続して2連勝を記録。2連勝から4連敗を喫す。一気に優勝候補から脱落し、背番号1が人目を惹かず大粒の涙を流した日もあった。

さらにはけがの続出もチームを大きく苦しめた。第3節対関大戦以降、それまでプレーで先導してきた主戦投手の野邊政策3投手の辻井スゴが相次いで離脱。ベンチでチームを支えてきた主将自らマスクをかぶる機会も増えた。「出るからにはチームを勝たせたい」という思いで、苦戦を耐え、ついにチームを勝利に導いた。



「春の最終戦、良い試合を見せたい」(坂)

開幕以降、選手たちは「総力戦」という言葉を口にする。いかなる状況でも誰が出場しても勝つことのできるチームが、坂組の理想像だ。全員でやらないと勝てない。今季は4年生をはじめ、昨季までBチームで力を蓄えてきた23年生が台頭した。さらに、新たに仲間に加わった1年生も主力として躍動。先発メンバーはもろろん、ベンチメンバーの活躍も勝利に大きく貢献してきた。

全員野球を体現し、対関大3回戦からここまで3連勝。さらに2節連続で勝ち点を獲得。誰一人諦めず必死に戦ってきた結果、絶望の淵から這い上がった。「だんだん自信が生まれてきて、やっと(理想が)形になってきた。積み上げてきた5勝が、何よりの成長の証しだ」。

開幕以降、選手たちは「総力戦」という言葉を口にする。いかなる状況でも誰が出場しても勝つことのできるチームが、坂組の理想像だ。全員でやらないと勝てない。今季は4年生をはじめ、昨季までBチームで力を蓄えてきた23年生が台頭した。さらに、新たに仲間に加わった1年生も主力として躍動。先発メンバーはもろろん、ベンチメンバーの活躍も勝利に大きく貢献してきた。

全員野球を体現し、対関大3回戦からここまで3連勝。さらに2節連続で勝ち点を獲得。誰一人諦めず必死に戦ってきた結果、絶望の淵から這い上がった。「だんだん自信が生まれてきて、やっと(理想が)形になってきた。積み上げてきた5勝が、何よりの成長の証しだ」。

◆春季リーグ戦順位表◆

順位	大学名	勝利	敗戦	分け	勝率
①	立命大	3	7	2	0.778
②	関学大	3	7	3	0.700
③	近大	2	6	3	0.667
④	同志社	2	5	5	0.500
⑤	関大	1	4	6	0.400
⑥	京大	0	0	10	1.000

最終節に待ち受ける立命大とのマッチアップ。伝統の一戦と呼ばれるこの舞台で、これまで多くの先人たちが熱戦を繰り広げてきた。昨秋は2試合連続で屈辱の完封負けとなったが、春に限っては23年、24年と続けて2連勝を記録。3年連続の勝ち点獲得に期待がかかる。「必死になって泥くさるか。勝ち点を取りにいきたい」。紡がれてきた思いを受け継ぎ、宿敵撃破へ。時まさに今、男々しく起る同志社。

開幕以降、選手たちは「総力戦」という言葉を口にする。いかなる状況でも誰が出場しても勝つことのできるチームが、坂組の理想像だ。全員でやらないと勝てない。今季は4年生をはじめ、昨季までBチームで力を蓄えてきた23年生が台頭した。さらに、新たに仲間に加わった1年生も主力として躍動。先発メンバーはもろろん、ベンチメンバーの活躍も勝利に大きく貢献してきた。

全員野球を体現し、対関大3回戦からここまで3連勝。さらに2節連続で勝ち点を獲得。誰一人諦めず必死に戦ってきた結果、絶望の淵から這い上がった。「だんだん自信が生まれてきて、やっと(理想が)形になってきた。積み上げてきた5勝が、何よりの成長の証しだ」。

橋本裕介
同志社大学選出選手

同志社大学選出選手

同志社予想先発オーダー

① 中森	② 赤山
③ 影山	④ 堀内
⑤ 齊藤	⑥ 橋本裕
⑦ 坂	⑧ 知念
⑨ 橋本裕	

Spring league digest

5/24・25 同志戦 13:30PB
@わかさスタジアム京都



石鎚会グループは、同志社アスリートを応援しています。

YOUR Life Station

医療法人社団 石鎚会・社会福祉法人やすらぎ福祉会

【石鎚会グループ関連施設】京都田辺中央病院・京都田辺記念病院・同志社山手病院・特別養護老人ホームやすらぎの杜・田辺中央クリニック・三山木中央クリニック・訪問看護ステーションやすらぎ・訪問介護センターやすらぎ・サービス付き高齢者向け住宅やすらぎの里三山木・介護老人保健施設やすらぎ苑・やすらぎ保育園

京都田辺中央病院では毎週火曜日の整形外科外来で、同志社大学スポーツ健康科学部教授 北條 達也 先生が、診察をご担当されています。

同志戦

DOSHISHA VS RITSUMEIKAN

5月24・25日 13:30 PB
於・わかさスタジアム京都

定期購読受付中!!

お申込みはこちらから▶▶
https://doshisha-atom.net/subscribe/
年間購読料 ¥2,000
年6回発行!
ご自宅まで配送いたします!

●学生コーチ

RYUKI

NODA

野田龍甲

01

—coach—
(のだ・りゅうき)

2003年10月8日生まれ。兵庫県・三田学園高校出身。経済学部4年。

精魂注ぐ

「選手の成長のきっかけになりたい」。学生コーチとして選手の指導やマネジメントを行う野田。3年時の夏に花野前監督から任命され、立場が変わっても「このチームで優勝したい、チームに貢献したい」という思いから引き受けた。

選手によって投げ方や感じ方は異なる。そのため、理解を深めながら言葉を考え、伝えるように指導する。

「チームの中で、自分の意見をしっかり発言するようにしている」。多様な視点で考え、組織のレベルアップに貢献するのも野田の仕事だ。縁の下で力持ちとして全身全霊でサポートし、これからも坂組の挑戦を支える。

学生コーチの日常

仕事内容

☒ 選手の指導

☒ マネジメント

coaching!!

学生コーチとしての活動は大きく分けて2つある。1つ目は各個人への技術の享受と、ブルペンでの投手への助言。それらに加えプレーやメンタル面に対する相談対応など、多方面において任務を引き受ける。おのおのがベストなパフォーマンスを発揮できるようにコミュニケーションを大切にしながら親身に寄り添う。

2つ目は部全体のマネジメントに関する取り組みの調整である。実戦において誰をどの

タイミングで起用するかといった戦術的な部分を、監督と意見を交わしながら決定。試合中も継投のタイミングや流れを見てベンチワークにも関わり、現場に近い立場でチーム運営に貢献する。さまざまな視点から個々の強みを引き出すのが使命だ。

ASAHI

NAGAO

長尾朝陽

04

—coach—
(ながお・あさひ)

2003年6月12日生まれ。福井県・敦賀気比高校出身。法学部4年。

2の理念貫け

少年の頃に夢見た敦賀気比に進学し、主力として活躍を見せた。同志社でも捕手として投手陣をリードしてきたが、後輩の入部により出場機会が減少。「うまくてもかなわなかった」。それでも執念を燃やし、3年時にはメンパー入り。しかし、今後もスタメンを目指すべく葛藤する日々を送る。「自分のできる形で貢献したい」という思いから学生コーチへの転身を決断。長いアスリート人生に幕を下ろした。

「大切なのは相手主体で接すること」。これまで培ってきた経験を生かし、競技者目線に立ち相手の良さを最大限に引き出す。そのために常に声を出して士気を高め、全員が悔いなく楽しめるように真摯(しんし)に向き合ってきた。時には指揮官の意図をくみ取り、納得できる根拠を伝えて伝える。そんな長尾の努力と経験値が白星に導く鍵となるはずだ。

●学生コーチ

舞台裏の英雄

No.6

山川愛実

YAMAKAWA

●主務

02

—chief—
(やまかわ・あみ)

2004年3月3日生まれ。京都府・同志社国際高校出身。今年度、主務を務める。社会学部4年。

部を照らす太陽

幼少期から何度も球場に足を運んだ生粋の野球女子。大学に入学すると、迷わず憧れだったマネジャーの道に進んだ。持ち前の明るさと無邪気な笑顔で良好な雰囲気を保ち、多くの部員にとっての原動力となっている。

昨年までは広報として仕事を全うしていたが、今年度から主務に就任。組織の中核を担い、学年の垣根を越えた信頼関係を構築している。仕事内容はスケジュール管理、学外関係者との仲介役など多方面にわたる。さまざまな重圧に耐えながら選手のことを最優先に思い、淡々と業務をこなしてきた。

「主役は選手なので、一人一人が伸び伸びと活躍できるようにしたい」。献身的にサポートし続ける彼女の存在は必要不可欠だ。いかなる時も仲間の背中を押し続け、勝利への追い風を吹かせる。

STAFF INTRODUCTION

-2025-

陰の功労者

高校時代、野球部のマネジャーができなかった悔しさを胸に大学ではトレーナーとして関わることを決意。彼女の主な業務は、アップやトレーニングの準備、アイシング作業だ。「選手の意見をしっかり聞き、それを最優先することを意識している」。積極的に意思疎通を図り、知識や経験不足を補うための努力を惜しまない。

「今まで生きてきた中で一番人間性の部分が成長した」。日々の練習をひたむきに支えるチームにとって欠かせない存在だ。「みんなに信頼され、親しみを持ってもらえるトレーナーになる」。2年前の留学時に感謝のメッセージやプレゼントをもらったことが、今でも鮮明に思い出される出来事だと話す。プレーヤーが求めることを率先して行動し、最高のコンディションで試合に臨めるように後押しする。

松本彩里

05

—trainer—
(まつもと・あや里)

2003年5月21日生まれ。京都女子高校出身。グローバルコミュニケーション学部4年。

●トレーナー

RISAKO

YASUNAGA

●マネジャー

03

—manager—
(やすなが・りさこ)

2003年11月9日生まれ。大阪府・同志社香里高校出身。法学部4年。

土台を築く要石

大学入学と同時に野球人生の幕が開けた。高校の頃はダンスに励んでいたが、打って変わリアスリートを支える立場に。当時4年生だった先輩の快い対応に心引かれ、新たな世界に足を踏み入れた。

大学野球のレベルの高さを痛感したのは、入部後すぐの同立戦だ。優勝を目前で逃す悔しい敗北を経験し、より一層自身のタスクに奔走。たくさんの人からの感謝の言葉を励みに、これまで多くの苦悩を乗り越えてきた。その場の状況を瞬時に把握し、円滑に運営をコントロール。今では自身を「緩衝材的役割」と語るほど、組織の架け橋として不可欠な役割を担っている。

「メリハリのあるマネジャーになりたい」。1年時から変わらぬ姿勢で、ナインの後ろ盾となり成長を後押しする安永。ラストイヤーを悔いなく駆け抜ける。

MG

日常

managing!!

マネジャーは広報・道具係・会計3つの役割に分かれて活動をしている。広報はパンフレットやポスターの作成、SNSの発信。道具係は競技用具の管理、発注をする。そして会計は集金など部のお金に関すること全般を運用。それぞれが役割を持ち、業務を全うしている。

一方で、トレーナーはトレーニングメニューの作成、アップやダウンの指揮を執る。身体のケアを中心に部員のコンディショニングを整え、プレーヤーの体の変化を把握。アイシングやリハビリ、テーピング作業に携わり、選手が万全な状態で試合に挑めるよう献身している。

MG

TR

仕事内容

☒ 道具の発注

☒ 会計管理

☒ 広報活動

☒ マッサージ

☒ アップの指揮

☒ メニュー計画

☒ リハビリ

☒ 体調管理

☒ 宿・バス手配

☒ 予定管理

☒ など

☒ など

TAKUTO

SATSUMA

薩摩拓斗

06

—trainer—
(さつま・たくと)

2003年11月26日生まれ。京都府・同志社国際高校出身。スポーツ健康科学部4年。

信頼を力に

小学生の頃から野球一筋。高校時代は監督不在の中、自ら考え抜く環境でスポーツに興味を抱いた。「初心者者が半数を占める組織で技術指導した経験が役立っている」。普段はアップの指揮やメニューの計画、外部トレーナーとの連携まで幅広く対応。また定期的に身体測定を行い、全員のわずかな変化も把握する。自身のプレー経験と知識を融合させ、科学的かつ実践的な指導が最大の強みだ。仲間が活躍し、感謝を伝えてくれる瞬間が何よりの喜びだと言葉に力を入れる。

新チーム発足後は全体トレーニングを強化。これがプレーヤーの体づくりへの意識向上につながり、大きな手応えを感じている。春季リーグ戦に向けて、練習量の調整やケアを徹底し、万全なサポート体制をつくることに注力した。「硬式野球部は大学生活の全て」。頼りにされる存在となり、身を粉にして働く。

●トレーナー

待望の白星

春季リーグ戦も中盤を迎え対峙(たいじ)したのは、23年春から1勝が遠い関大。ナインの強い想いが勝利を呼び寄せた。

1回戦は橋本裕が要所を締める投球で三振を量産する。一方、攻撃では6回、中森(法4)の一打をきっかけに好機を演出すると、相手の失策の間に1点を獲得。その後はリードを死守し、初戦を制した。

勢いそのままに挑んだ2回戦は、開始早々先制点を奪うと4回にも得点を追加。試合は同志社ペースで進むと思われたが、後半に悲劇が待ち受けていた。本田が6回に連続で安打を浴び、1点を献上する。8回にも齋藤が1点を失

い、同点に。9回には今季初出場の安田(スポ2)が登板したが、制球が乱れる。最後は暴投でまさかのサヨナラ負け。勝負の行方は次戦へと持ち越された。

迎えた3回戦。初回に3本の適時打が飛び出し、一挙4得点の快進撃を見せる。7回には、知念が放ったダメ押しの本塁打が勝敗を決定づけ7-3でゲームセット。この日も橋本裕がマウンドを守り抜き、最終回までエースの独壇場だった。

「やっとスタートに立てた(坂)」。食欲に勝利を求め、全員野球でつかみ取った今季初の勝ち点。今後のさらなる成長を予感させる1節となった。

1回戦	2回戦	3回戦
井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1



1回戦	2回戦
井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1

ようという気持ちで投げた(橋本裕)。投打がかみ合い、4-0で先勝を決めた。

2回戦は初回から大井(商3)が二塁ベースを踏むと、堀内(法4)の機打で三塁へ進塁。北田(法3)の投ゴロの間にホームへ生還した。さらに連打で計3点を奪取し、幸先のよいスタートを切る。5回には初出場の川満が初打点を挙げた。しかし、京大もじわじわと迫る。4回、6回とそれぞれ1点を追加され、8回、三塁の場面でセンターへ打球を運ばれた。依然ピンチは変わらず、この回ついに同点に追い付かれる。1点も与えられない9回表、本田に代わり財原がマウンドに上がった。気迫のプレーで凡打を重ね、サヨナラ勝ちへ望みをかける。運命の裏の攻撃、大井、堀内が出塁すると中森が三塁方向に転がした機打がエラーの一発を放った。一方の守りは頼れるエースが9回、105球で京大を完璧に封じ込める。「自分が完投し

WIN

5/10-11 vs. 京大 @ほっともっとフィールド神戸(兵庫県)

記者の眼
選手たちの諦めない姿勢に何度も励まされ、取材活動にいい刺激が与えられました。我々の活動にご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。秋に神宮を制するその日まで、坂組を追い続けます!【黒田周良】

連勝達成

立命大戦力分析

立命大は史上初のリーグ10連敗を喫した昨春から一転、今季は安定した戦いぶりを見せている。現時点で首位に立っており、優勝争いを先導。幾度となく気迫あふれるプレーを披露した。この一戦は何かあっても譲れない。両者の火花を散らす熱い戦いが、いよいよ幕を開ける。



◆有馬の対同志社戦成績◆					
年度	季	試合	勝利	敗戦	失点 防御率
23	春	1	3	6	2.00
	秋	対戦なし			
24	春	対戦なし			
	秋	1	6	6	0.00
平均		4	5	6	1.200

総合同立戦開幕

1930年に始まった同立戦。同志社と立命大は単なるライバル関係にとどまることなく、互いに高め合っている。90年以上の伝統と誇りを受け継ぐべく、大学創立150周年の節目に総合定期戦を開催。多くの団体が参加し、総合的な勝ち点の数で勝敗を決める新たな枠組みを創設した。長年の歴史をつなぐためにも、燃えたぎる熱意を持って挑む。魂をぶつけ合う硬式野球部の同立戦には、毎年注目が集まる。全員野球で闘志を燃やし、体育会をさらに盛り上げろ。

Playback ~Spring League~

2025

出塁壘かれる

リーグ優勝を目指す戦いが始まった。開幕戦の先発を任せられたのは本田(商4)。攻めて一人でも多く抑えられるように」と意気込んでいたが、立ち上がりから崩され先制を許す。それでも5回、反撃のろしが上がると、先頭打者の齋藤(法1)が四球を選び、中田(スポ3)の安打でチャンスが拡大。絶好機で代打寺田(法2)が右適時打を放ち、2点を奪取した。流れに乗った同志社打線は一気に爆発し、さらに2点を挙げる。続くリリーフ陣が残りのイニングをきっちり抑え、貴重な白星を勝ち取った。

連勝を狙う2回戦の先発は野邊(法1)。近大に猛攻を浴び5回までに7点のリードを与えた。自分たちのミスが続いて、流れを持ってこれなかった(中田)。その後、悪い流れを断ち切れず、追加点を献上。7回表、辻井(スポ3)の適時打と相手の失策で2点を返す。8回表にも1点を奪ったが、大きく開いた点差を覆すには至らなかった。



1回戦	2回戦	3回戦
井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1

4/5-6-7 vs. 近大 @わかさスタジアム京都

まさに悪夢のような2日間だった。対近大戦から2週間。坂組は初の勝ち点奪取に向けて昨年度の覇権争いへと対峙した。初戦は先制こそ許すも4回終了時点で3点差と、逆転可能な展開で試合が進む。しかし5回、齋藤(法2)が相手打線に捉えられ一挙4点を奪われた。終盤に登板した財原(スポ4)と本田も王者の勢いを止められず、追いつけず6点差を喫す。一方の攻撃陣も関大エース・飯田を攻略できず、わずかに1点に終わった。

優勝遠のいた

続く2回戦、ゲームが動いたのは5回。安打と2四球で満塁の好機をつくる。ここで打席が回ってきたのは橋本裕。監督からの指示通り真つすぐを張つていた(橋本裕)と内角に入った直球を弾き返す。打球はそのまま風に乗り、レフトスタンドへ。公式戦初本塁打に同志社サイドは熱気に包まれた。直後に2点差に縮められるも、6回に3点を追加。大差をつけた状況で守備に入る。しかし現実には甘くなくつた。6回裏、中田の失策によりランナーを背負うと、前日の覇気を取り戻した関大に猛攻を仕掛けられる。5点のリードはあっという間にひっくり返された。8回に1点を返すも追い上げはせず、8-19で2連敗。優勝が絶望的になった。



1回戦	2回戦	3回戦
井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1	井内4 大城3 中森3 齋藤3 佐藤3 中川3 坂2 橋本裕1

4/19-20 vs. 関学大 @ほっともっとフィールド神戸(兵庫県)

各節 MVP ビラ

特に活躍が目立った選手をピックアップ!



同志社校友会

Doshisha Alumni Association



同志社校友会事務局

MAIL: info00@doshisha-alumni.org

卒業生と繋がる
学生と繋がる
学生を支える

心を一つに

Who are we? La La La

覚悟新たに
先導者の座へ

チアリーダーとしてスタン
ドを盛り上げてきた花川
が第117代応援団長に就任。
第115代団長・加田（法卒）
の姿に心を打たれ、「自分も団
長になりたい」と抱いた憧れ
はやがて決意へと変わった。
指導部以外の部員が団長
の座に就くのは異例のこと
だ。チアリーダーの頃と
は大きく立場が異なり、立
ち振る舞いに慣れないこ
とも多
い。それでもリーダー
としての在り方を日々模
索し続けている。
「私を見て、頑張
ろうと思ってくれる人
が増えてほしい」。その一
心で声を張り上げ観
客を魅了し、自分の
役目を全うす
ことも多
い。

同志社アトム

勝利の女神が戦場を舞う

応援団

チアリーダー部

応援団

See Off

まぐれ

ヒロス

モソギター

HIT

バクバク

ナニバ

同志社天国

檄帝

Cheering Angels

笑顔を見せるチアリーダー部と団長・花川
【切り込み写真】
左・ボムを手に踊る徳田（理工3）
右・ポーズを決める
（撮影・伊藤愛梨）

花川美結
（はなかわ・みゆ）
2004年3月31日生まれ。
大阪府・大谷高校出身。今年度、
団長を務める。同志社女子大学
4年。

角田慶
（つのだ・けい）
2003年12月8日生まれ。
大阪府・同志社香里高校出身。
今年度、副団長を務める。
心理学部4年。

池ノ内奈央
（いのうち・なお）
2003年12月21日生まれ。京
都市・同志社女子高校出身。今年度、
チアリーダー部長を務める。政策学
部4年。

伝説戦

躍動感あふれる演舞とパ
ワフルな声援で周囲を魅了
するチアリーダー部。華や
かな笑顔の裏には、たゆま
ぬ努力が隠されている。競
技と応援の双方に全力で向
き合い、他では味わえない
景色と感動を手に入れた。
今年も全身全霊で声を張
り、選手たちに活力と勇
気を与える。そして、同志
社のために心を込めて尽力
する彼女たち。その情熱
はスタンドに熱気を広げ、
絆をさらに深めていく。
いかなる困難にも立ち向
かい、輝きを生み出し続け
る。

二流

限られた時間で競技
と応援を両立させる應
援チアリーダー部。
それは、決して簡単な
ことではない。練習時
間の確保や体力の管
理、団員の連携など
全てが網羅された。ど
ちらも私にとって欠
かれないもので、応援
で得られる感動も、
競技の達成感も何に
も代えることができ
ない（角田）。壁に
ぶつかりながらも、
歩みを進めることな
く両立を成し遂げて
きた。

闘争心

2つの舞台を駆け抜
ける彼女たちは、春季
リーグ戦最大の山場
である同立戦に向けて青
春をさげすんできた。ど
んな場面でも同志社な
ら勝てると信じて、声
援を送り続ける（角
田）。声が枯れるまで
叫び、笑顔でチームの
士気を高める。勝利の
鍵を握る「もう一人の
主役」からも目が離さ
ない。（中務裕之）

夏炉冬扇

「どこへ
行っても
馴染めな
い。気が
がした。
海外で育
つた私に
とって常
に感じて
きた距離
感。受け
入れられ
ていない
環境に飛
び込んで
いる。心
を溶かし
込むこと
はできな
い。不安
を抱えて
いる。同
じ言葉で
話さず、
違うこと
を話して
いる。こ
こから飛
び込んで
いる。こ
こから飛
び込んで
いる。」
（角田）

私たちは硬式野球部を応援しています

DOSHISHA BASEBALL CLUB × SPORTS ATOM

YOUNG RESORT
株式会社 ヤングリゾート

#大会速報 #サークル合宿 #アパレル
#お揃いウェア #ArcheryTag #キンボール
#ヤンフェス #就職活動支援 #大学生
合宿・ゼミ旅行などは是非お問い合わせください！

同志社スポーツユニオン

体育会51クラブのOB・OGから組織されています
同志社スポーツユニオンは同志社アスリートを支援、応援致します！

http://www.doshisha-su.com/

○ウェブサイトを通じて同志社スポーツを応援しましょう！
○新年度 ウェブサポーター 募集中！

お申込み・お問い合わせ
〒610-0334
京田辺市多々羅町1-3
同志社スポーツユニオン事務局
TEL: 0774-65-7418 FAX: 0774-65-7416
E-Mail: jc1sport@mail.doshisha.ac.jp

同志社から一番近い 京田辺校地 教習所です！

※昭文社京都府地図より

オンライン学科実施中!!

自宅でスマートフォンで
受講できます

山城田辺自動車学校

秋から新車にしたい！

〒610-0322京都市京田辺市普賢寺中島4-9
TEL 0774-63-6600

広告主様募集中!!

お問い合わせは連絡フォームまで
▶http://doshisha-atom.net/promotion/